



苓北町議会だより

きずな



町木「ツバキ」

84

2013年1月21日発行
(平成25年)

●あなたと議会のかけ橋に

消防法の改正により
「住宅用火災警報器」の
設置が義務付けられました。



平成25年 消防出初め式



火災から
みんなを守ろう
この町を

町花「はまゆう」



【主な内容】

- 議長挨拶 2
- 定例会 3
- 調査報告 4～7
- 一般質問 8～12
- 傍聴記 13
- 編集後記 14

※として保存しましょう。

議会の主な動き

平成24年9月～25年1月

9月

17日(月) 県町村議長会事務局職員研修
24日(月) 建設経済常任委員会

10月

1日(月) 町民福祉常任委員会
21日(日) 県際交流事業(三県架橋・牛深)
22日(月) 県町村議長会理事会(熊本市)
25日(木) 総務常任委員会

11月

6日(火) 県町村議長会議員研修
7日(水) 災害地視察(南阿蘇村)
12日(月) 総合農政審議会
13日(火) 全国議長会(議長)
16日(金) 全員協議会(富岡ため池取得の経過)
議会活性化対策特別委員会
議員全体会

11月

25日(日) 関東ふるさと苓北会総会
27日(火) 総務常任委員会
28日(水) 県町村議長会議会広報研修会
29日(木) 総務常任委員会
議会運営委員会

12月

13日(木) 14回定例会(第1日目)
全員協議会
(電算システム、中学統合、委員会関係)
14日(金) 14回定例会(第2日目)
議員全体会(常任委員の選考)
19日(水) 県町村議長会議会理事会(熊本市)
25日(火) 県市町村総合事務組合全員協議会(熊本市)

1月

4日(金) 成人式
6日(日) 出初め式

広報委員会 12月14日・26日 1月8日・15日

議事録は『苓北町役場ホームページ』

http://www.reihoku-kumamoto.jp/outline/gikai_v1.htm

で閲覧できます。

次の定例会は
3月です。

皆様の傍聴をお待ちしております。
(12月定例会の傍聴者は41名でした。)
不定期に臨時会が開かれます。

きずな・議会に対する
ご意見を
お寄せください。

連絡先：議会事務局
☎35-1111



議会広報委員会

新年を迎えいかがお過ごしでしょうか。
昨年12月の総選挙で政権が代わりました。
新しい政権には、国民の負託に応え、元気な日本を作ってもらいたいと熱望します。
さて、私達苓北町でも、平成25年度の予算が3月の定例会議に提案されます。
町税の減収など、財源の厳しい状況が予測されますが、『入りを図りて出を制す』を基本に据えた安定した予算の策定のため、私達議員もお一人層勉強し、町民の皆さんの声を反映させ、議会の機能を十二分に発揮していきます。
そのために、皆さんの忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。
今年も、どうぞよろしくご指導いただきますようお願いいたします。

編集後記

年頭に寄せて

新年明けましておめでとうございます。
町民皆様方には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より町議会に対し、ご指導ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。
さて、昨年十二月衆議院選挙で民主党から自民党政権となり、昨年暮れ第九十六代内閣総理大臣に安倍晋三氏が再登板されました。今回、安倍総理はデフレ脱却に向け、大胆な金融緩和と公共投資を進め景気回復を目指し、国土強靱化のもと、防災、減災対策等の公共工事拡大を打ち出され、その所為か、このところ円安、株高に動いています。
年明け早々には緊急経済対策として、平成二十四年度の大規模補正予算十三兆円あまりを提案されております。
東日本大震災の復興予算や人命、教育、新産業創出等に係わる事業は理解されますが、政府がこれまで景気対策と称し巨額を投じ成功した例はあまりありません。
熊本県町村議会議長会では、毎年県並びに県議会に対し、県下九郡の要望活動を実施しています。今年苓北町議会は、現在整備中の地域高規格道路「熊本天草幹線道路」および、接続する国道道路等の整

備促進と第二瀬戸大橋建設促進を、昨年に引き続き要望をいたします。特に今回は、この区間の整備完了まで暫定的な支援策として、交流人口増大を図り地域活性化のため「松島有料道路」通行料金の無料化を強く要望したいと考えております。
一昨年、町内六団体より「苓北町サッカー場建設」等の陳情書提出を元に、町議会活性化対策特別委員会を設置し、二年近くにわたる審査調査の結果、委員会では「採択すべき」と決定されました。この件は地域活性化を図る目的とは言え、規模、財政、費用対効果など、また、このサッカー場は、津波対策の仮設住宅用地を兼ねた施設計画との意味合いもあり、今後も総合的見地から、さらに検討していかねければと考えております。
現在、我が国は少子高齢化が一段と進む中、特に地方では過疎化、産業振興、雇用の確保など課題山積ではありますが、町民皆様並びに町当局と議会の連携を進め、魅力ある町づくりを推進していかねければと強く考えております。
今年も、議会および広報「きずな」をよろしく願います。
結びに、皆様方の益々のご健勝と、苓北町のさらなる発展を心からご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

平成25年 元旦



苓北町議会 議長
倉田 明



第14回定例会

12月14日(金)

提案された報告3件・陳情2件・専決処分の承認1件と議案9件について審議し、原案どおり承認・可決した。

- 報告第19号 (承認) ● 例月現金出納検査の結果報告 (平成24年度8・9・10月分)
- 報告第20号 (承認) ● 定期監査の結果報告について
- 報告第21号 (承認) ● 所管事務の調査結果報告について (委員長報告)
- 陳情第1号 (採択) ● 苓北町サッカー場建設について (委員長報告)
- 陳情第2号 (不採択) ● 海中展望船設置について (委員長報告)
- 承認第28号 専決処分の承認 ● 平成24年度苓北町一般会計補正予算 (第4号) (承認)
- 予算総額に623万円を追加し48億3,286万1千円とする
- 議案第115号 (原案可決) ● 苓北町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (結婚相談員の新



富岡轟新地ため池 (太線枠内 16,869 m²)

設) 議案第116号 (原案可決) ● 苓北町議会委員会条例の一部を改正する条例 (地方自治法の改正による)

議案第118号 (原案可決) ● 平成24年度苓北町一般会計補正予算 (第5号) 予算総額に1億6,045

万8千円を追加し49億9,331万9千円とする。富岡轟新地ため池取得費1億3,500万円が主な補正。

議案第119号 (原案可決) ● 平成24年度苓北町介護保険特別会計補正予算 (第2号) 予算総額に384万5千円を追加し8億7,497万2千円とする

議案第120号 (原案可決) ● 平成24年度苓北町水道特別会計補正予算 (第2号) 予算総額に11万4千円を追加し2億9,288万8千円とする

議案第121号 (原案可決) ● 平成24年度苓北町下水道特別会計補正予算 (第2号) 予算総額に20万円を追加し3億2,281万円とする

議案第122号 (原案可決) ● 苓北町温泉プールの指定管理者の指定について (指定管理者 (有)クアールト (期間) 平成25年4月1日

～28年3月31日) 議案第123号 (原案可決) ● 公有水面埋立免許について (釜海岸保全区域145m、

741.23m) 農業委員会委員の議会推薦について (承認) ● 坂瀬川 内尾明美さん ● 都呂々 山下時義さん

受理年月日	番 号	件 名	提出者住所氏名	結果
11月20日	陳 情 第18号	最低保障年金制度の創設を求める陳情	熊本市中央区神水1丁目30-7 コモン神水 全日本年金者組合 熊本県本部 委員長 國 宗 直・苓北支部長 石田 進一郎	議員配布
11月22日	陳 情 第19号	消費税増税に反対する意見書の提出を求める陳情書	天草市東町13-8 消費税廃止天草地域各界連絡会 代表 山下 久	
11月26日	陳 情 第20号	国民健康保険財政への国庫負担割合を増やすことを求める陳情書	熊本市中央区神水1丁目14-41 熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼 香代子	
11月26日	陳 情 第21号	改正介護保険制度の充実に関する陳情書	熊本市中央区神水1丁目14-41 熊本県社会保障推進協議会 会長 鳥飼 香代子	
11月27日	陳 情 第22号	「年金2.5%削減法案」を廃止とする陳情	熊本市中央区神水1丁目30-7 コモン神水 全日本年金者組合 熊本県本部 委員長 國 宗 直・苓北支部長 石田 進一郎	

陳情等文書表について (議員配布) 陳情等文書表

総務常任委員会
調査報告

- 一日時
- 第1日目＝平成24年11月27日(火)午後1時30分から4時00分
- 第2日目＝平成24年11月29日(木)午前9時30分から12時05分
- 出席委員
- 委員長 浜口雅英
- 副委員長 野田謙二
- 委員 山本政人
- 委員 錦戸久幸
- 委員外出席
- 議長 倉田明
- 書記 議会事務局長
- 執行部出席
- 第1日目 教育委員会
- 第2日目 企画政策課
- 総務住民課
- 総務課
- 審査場所
- 書類調査＝監査委員会室
- 現地調査＝九電苓北火力発電所(石炭灰捨て場、グラウンド)。富岡津波避難所
- 審査項目

(一)管内中学校の統合問題

(書類調査)

1 審査の結果

(1)取り組みの現状

①苓北町学校規模適正化(中学校)推進計画の策定に向けて取り組んでいる。

②平成24年5月30日、苓北町中学校統廃合問題審議会へ諮問。25年1月30日教育委員会で、素案を審議。町と教育委員会の意見交換後、議会へ報告する。

③苓北町中学校統廃合問題審議会を設置し、第1回会議を、平成24年5月30日に開催。

議題は、

ア…諮問理由。

イ…苓北町の児童生徒数、学級数等の現状。

ウ…その他。

以降、11月13日に第6回審議会を開催、答申案が決定された。

④今後、4地区で地区説明会を開催し住民からの意見集約を行う。

(2)総務委員会からの意見

①地元説明会では、統合は、生徒の学力向上のための教

育行政である事を理解してもらうよう配慮すべき。

(二)自然災害避難所として

学校施設の状況。

(書類調査)

1 審査の結果

(1)校舎とグラウンドの現状について資料を基に説明を受けた。

(2)総務委員会からの意見

①防災計画に基づき、地域の防災拠点として定期的な訓練等、適切な運用を図るべき。

②中学校の、統廃合問題が具体化しつつあるが、廃校になった学校施設については、二次避難箇所として校舎の活用を検討すべき。

(三)教育委員会の運営等について。

(書類調査)

1 審査の結果

(1)教育委員会会議の回数などについて説明を受けた。

(2)総務委員会からの意見

①教育委員会の会議議事録もホームページに載せるべき。

(四)これまでの財政運営状況と今後の見通しについて。

(書類調査)

1 審査の結果

(1)資料により過去十年間の決算状況、今後十年間の収支予測について説明を受けた。

(2)総務委員会からの意見

①今後の財政計画については、早期に公会計の導入を図り、施策に優先順位を取り入れ慎重に対応すべき。

(五)九電苓北火力発電所灰捨て場にかかる課税の状況について。

(現地調査)

1 審査の結果

(1)現地調査前に、税務住民課から当該個所の課税の現状と根拠について聴取した。

①埋め立ての途中であり、現状の形態では課税の対象にならない。

②関係法令を検討し、関係機関とも協議を重ね適切に対処している。

(2)苓北発電所にて、灰捨て場埋め立て状況、クリンカアッシュ、グラウンド

芝生の管理について説明を受けた。

(3)総務委員会からの意見

①有価物クリンカアッシュ約10万tのストックヤードである。課税客体に出ないか検討すべき。

(六)富岡地区避難地

(現地調査)

1 審査の結果

(1)施工箇所において、施工状況の説明を受けた。

①竣工は、平成24年11月30日である。

②当初計画に対し、一部に1.6m、面積は62㎡の嵩上げ部分があった。これは地元の要望により物見場所として変更したとのこと。

(2)総務委員会からの意見

①上面の雨水対策として縁のかさ上げが施されていた。

②当該施設に隣接して幅1.5m程度の民有地が存在した。これは避難通路として有効なので公有地化すべきではないか。

③避難地としてセットにすべきトイレの設置が未整備。早急に対処すべき。

町民福祉常任委員会
調査報告

- 一日時
- 平成24年10月1日
- 出席委員
- 委員長 錦戸俊春
- 副委員長 田嶋豊昭
- 委員 倉田明
- 委員 神崎公顕
- 委員会書記
- 議会事務局長
- 執行部出席
- 福祉保健課
- 視察調査内容
- ①町内福祉施設の運営状況等について
- ②視察調査先
- 新ふれあい館
- ①子育て支援センター
- 社会福祉協議会が町からの補助を受けて、平成24年4月16日から運営されている。
- 開催日＝毎週、月、水、木、金曜日(祝日を除く)
- 4回開催
- 時間＝9時30分～15時まで
- 対象者＝子育て中の保護者と子供

子育て支援センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開設日数	8	16	16	17	16	15
利用者数	72	147	187	188	160	122
日平均	9	9.2	11.7	11.1	10	8.1
相談件数	8	24	24	20	19	17

利用料＝町内 100円

町外 200円

利用する場合は登録が必要であるが、事前登録の必要は無いとのこと。現在の登録者は、主に、保育所入所前の0歳児から2歳児の親子30名で、町外の利用者の方もいる。

弁当は持参とのことで、使用料は、おやつ代に使っている。

利用者の方から、「保育士の資格を持つておられるベテランの方が対応して下さって

いて、心強いです」との感想も聞かれた。

利用状況は別表のとおり。

②ひまわりの家

NPO法人ひまわりの家で運営されており、登録者14名で、町の委託事業で運営されている。町の施設(新ふれあい館)を会場として、通所事業を実施され、日常生活の指導助言や、機能訓練などを毎週月、水、土曜日に実施されている。

定員50名の入所施設であるが、現在46名の入所がされている。内訳は、苓北町＝22名・天草市＝23名・上天草市＝1名である。

入所者の対象年齢は、65歳以上の方で環境上あるいは経済的理由により家庭で養護を受けることが困難な人が対象である。

養護老人ホーム 寿康園

入所者の対象年齢は、65歳以上の方で環境上あるいは経済的理由により家庭で養護を受けることが困難な人が対象である。

訪問サービスは、身体介護(入浴・食事・排泄)、生活援助(清掃・簡単な調理)、健康チェックなどを行い、緊急

の連絡にも対応することである。

何れの施設利用者も、明るく、笑顔で、楽しく生活が送られていた。施設整備、生活環境においても、個々にあった配慮がなされていた。

全体のまとめ

全体

平成24年4月1日に、地域密着型小規模多機能型居宅介護サービス事業所として開設された施設であり、対象者は、町内に居住し、介護認定を受けている方(要支援1～要介護5)の通所サービス、ショートステイ、訪問サービスの事業を実施されている。

通所サービスは、1日5人を限度に利用者3名に対し職員1名を配置されていた。入浴や食事等の介護及び生活上の相談、助言、健康状況の確認などの、日常生活の世話や訓練の提供をしている。

ショートステイは、居室が9室(個室)あり、緊急時などのショート泊に対応されている。

訪問サービスは、身体介護(入浴・食事・排泄)、生活援助(清掃・簡単な調理)、健康

チェックなどを行い、緊急

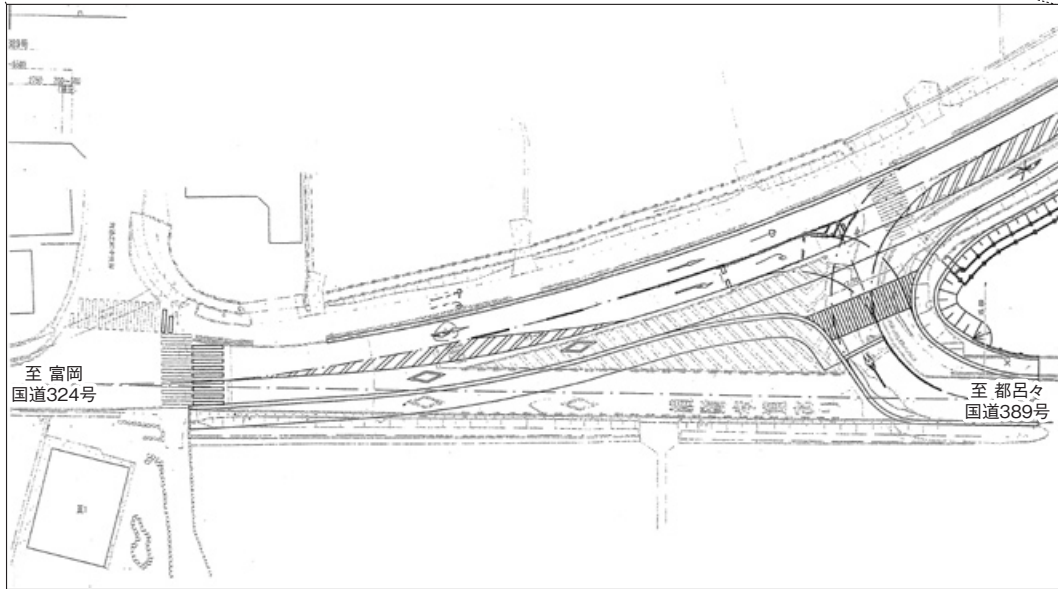
建設経済常任委員会
調査報告

- 一日時
- 平成24年9月24日(月)
午前9時～11時45分
- 二 出席委員
- 委員長 野崎 幸洋
副委員長 大仁田藤男
委員 山下 時義
委員 松野 重幸
- 三 委員外出席
- 議長 倉田 明
- 四 執行部出席
- 土木管理課
農林水産課
商工観光課
- 五 委員会書記
- 議会事務局長
- 六 現地調査場所
- (1) 廃船処理関係(紺屋町
海岸、富岡汐入、富岡
漁港)
(2) 台風・高潮被害(ペー
ロン倉庫前トイレ、富
岡海水浴場、都呂々港)
(3) 国道324・389交
差点
(4) 町道災害箇所
(5) 年柄地内海浜地駐車場
整備予定地

七 調査の方法等

- 担当課の説明を受けな
がら現地確認を行っ
た。出された意見は下
記のとおり。
- (1) 廃船処理関係
- ① 廃船処理については、関
係機関や地元の方等から
の聞き取りで所有者を把
握し、県や他自治体等へ
も問い合わせを行い対応
されたい。
- (2) 台風・高潮被害
- ① ペーロン倉庫前について
は、台風時等に波の進入
を防ぐ対応を検討された
い。
② 富岡海水浴場の災害復旧
については、県管理とい
うことだが対応について
要望されたい。
③ 砂が前回の調査時と同じ
ように動いている状況が
ある。突堤の嵩上げ等に
ついては、漁業者の要望
等を聞いて対応されたい。
④ 都呂々港の災害復旧につ
いては、背後には低地の
住宅地が多いので、港と
してばかりではなく、台
風時の高波の進入を防ぐ
ためにも早期に復旧され

- たい。
- (3) 国道324・389交差点
① 国道324・389の交
差点については、計画ど
おり進められたい。
- (4) 町道災害箇所
- ① 白木尾地区町道小原線の
災害復旧については、計
画どおり進められたい。
(下図参照)
- (5) 年柄地内海浜地駐車場整備
予定地
- ① 九電サッカ―場に駐車場
が不足しているため、海
浜地を駐車場に整備す
る。選手は、サッカ―場
前で降りし送迎車両の運
転手のみとのことだが、
左側に歩道がないので、
将来的に国道下に歩道を
設ける等、道路横断をし
なくてもよい方法を検討
されたい。



国道324号線・389号線の区域変更図面

苓北町議会活性化対策
特別委員会審査報告

- 一、審査の過程
- ① 審査期日
- 平成23年4月28日
平成24年11月16日
- ② 審査の過程
- 議会からの審査付託に
基づき、陳情者への意見
聴取を行うとともに、執
行部に出席を求め慎重に
審査した。
- 二、審査の結果
- ① 陳情第一号
- 苓北町サッカー場建設
について「採択」すべき
ものと決定した。
委員会を、8回開催し
た。
審査のなかで、町の活
性を図るという主旨につ
いては、理解できるが、
建設に必要な財源確保の
問題、将来にわたっての
維持管理費用の問題な
ど、また、交流人口を含
めて、費用対効果や、町
の財政事情等の面で、厳
しいのではないかとの意
見もあった。
しかし、何らかのアク
ションを起こさなければ、

このままでは、町が衰退
するという意見もあった。
サッカー場を建設し、
交流人口を増加させ、活
性化に繋なげ、経済効果
も期待できるとの意見も
あり、様々な協議を重ね
た。

② 陳情第二号

海中展望船設置につい
て「不採択」すべきもの
と決定した。
展望船を造船してまで
は、「イルカウォッチン
グ」を行うことでは無く、
行うとするならば、漁船
を改造し利用して、当面
は実施したいとの意向の
ようである。
今後、この事業が軌道
に乗って、どうしても船
が必要であると判断され
てから、再度陳情されて、
協議することでも、良い
のではないかなど、協議
を重ねた。
ただ、町の活性化に繋
がる事でもあるので、も
し実施される団体等があ
れば、何らかのバックア
ップの施策は、考えるべ
きではないかとの意見も
あった。



立野地区の被災個所

九州北部豪雨災害視察

平成24年11月7日(水)議
員研修2日目に九州北部豪雨
により被災された、阿蘇郡南
阿蘇村を視察してきました。
平成24年7月12日に「これ
までに経験したことのない」

豪雨により、2人の尊い命が
犠牲になられ、さらに南阿蘇
村全域に大きな被害が発生
し、今も悲惨な爪痕を残して
います。

村長はじめ議会議長から、
災害当日の役場職員、議員、
消防団等さまざまな有志の方
が取り組まれた救助やボラン
ティアの様子を聞き、いつ発
生するかわからない災害に対
する心構えと教訓を、今後の
町防災に活かしたいと思いま
す。

関東ふるさと苓北会総会

11月25日(日)、東京霞が
関ビルで関東ふるさと苓北会
の総会が開催され、議会から
倉田議長、浜口、山本、田嶋
議員の4人が参加しました。

総会は、約200人の参加
のなか、土井光廣副会長(坂
瀬川)の進行により、西田勝
利会長(坂瀬川)の主催者あ
いさつに始まり、平井正徳事
務局長(志岐)、雨森雅子会
計(富岡)、田尻保徳監査(坂
瀬川)、大澤道代監査(志岐)
からの会務・会計・監査報告
が、満場一致で承認されまし
た。その後、田嶋町長、倉田
議長他が来賓あいさつを行
いました。

二部の懇親会は、大仁田淳
監事(富岡)の軽妙な進行で、
芸能人顔負けのカラオケなど
が披露され、終始和やかなう
ちに宮崎孝幸さん(坂瀬川)
の万歳三唱にて閉会しまし
た。

今回は、本田翔太郎君(富
岡)、宮崎瞳さん(坂瀬川)、
吉田佳奈子さん(坂瀬川)の
学生三名が運営に協力されて
いました。

議会広報研修会報告

11月28日(水)、熊本市町
村自治会館において県町村議
会広報研修会が開催され、苓
北町議会からは委員6人と議
長が参加しました。

内容は、元熊日新聞社の越
地真一郎氏による講評と、県
内三町村議会広報委員長によ
るパネル・ディスカッション
でした。

苓北町議会は、24年4月と
7月に発行した81号と82号の
講評を受けました。評価点は、
内容、デザイン、文章の3点
についてそれぞれ30点の合計
90点満点で評価され、『きず
な』は61点でした。

広報作成の心構えとして
『町民の目線』が重要だとい
う話がありました。この事は
当然のこととしてこれまで取
り組んできましたが不十分な
点が多いと反省しておりま
す。

今後も、この研修会で学ん
だことを活かして取り組んで
まいります。

ACII土羽ブロック維持修復基金の設置を

茶北町は単独での町づくりを目指して早10年。この間、失われた20年と表現されるように日本経済は低迷し続け、国は大幅な借金財政で、末端の市町村にも影響を及ぼし、町の財政計画も年々厳しさを増している。これまでの町財政運営で歳入面の見落としはないのか、また歳出面で大きなロスとなるものはないのか。

問 財の尾宅地造成地は平成21年に町が1億2百万円で開発業者から購入したが、ACII土羽ブロックに剥離現象が起きて相当数の修復カ所がある。ブロック何枚で何十カ所あるのか。

また、5年経過するまでは販売業者側負担で行うが、その後は町が負担するとのこと。財の尾に使用のACII土羽ブロックは経年劣化に耐えられない不完全製品の実証工事ではなかったのか。

町長 土木管理課立ち合いの下、資材納入業者によって本年5月11日に自主点検を行い6月30日までに完了した。

補修45カ所、49枚のブロックで、基金の設置については、橋梁、公営住宅等の改修を含め町全体課題として検討していきたい。

再質問 町長は町の他の施設の修復工事と合わせた費用負担のため基金の設置を検討したいとのことだが、私はそれは違うと思う。なぜなら、使用石炭灰には当たり5千円とも言われる産廃処理費の存在があることから当然、形態の違う基金にするべきと考える。

この他に、元坂瀬川宅地造成地、坂瀬川グラウンド拡張工事、紺屋町避難所等にも同種の土羽ブロックを使用。

富岡避難所の土羽ブロックは議会からの強い要請で、ACII製使用予定をコンクリート製に変更した。

※注1 隣接するブロックの剥離カ所は、2カ所あっても1カ所としてカウントしているとの説明。



全体では、数十ヶ所の剥離修復跡が確認される

九電灰捨場の一部土場として利用中。課税客体では？

問 約10万tのクリンカアッシュ(有価物)が

野積みされており、現地での説明では、ここから先は販売業者が運んでいるとのこと。町はどこまで把握しているのか。

町長 販売体制は、九電産業K・Kが発電所から購入し、指定販売店を通して使用者が使う流れになっている。販売量は多い年度で5万7千t、少ない年度は5千t。法的に課税は難しい。

計画中の二次避難所
問 売却した坂瀬川グラウンド横広場と交換相談するために、現在、上津深江地区に計画中の二次避難所に用地の確保検討はできないか。

町長 計画地は、税務署を受け用地交渉をなしているところであり、完成後交換となると計画と大きく違ってくるので色々な問題がある。また、坂瀬川グラウンド横造成地につきましても払い下げをした時の経緯もある。交換となると相手があることなので現時点では考えていない。

第14回定例会(12月13日) 一般質問(5議員登壇)



議員 浜口 雅 英

平成25年度予算の編成方針

問 行財政改革の推進と住民の生活に密着した予算編成を。

町長 国政選挙の最中で政権がどう変わるか不確定であり、また県の財政も厳しい様だが、施設の維持管理の精査を行いこれ等への適切な対処。道路舗装や路面表示の補修等維持管理。側溝改修。安全安心の為の外灯の設置等、茶北町振興計画で示されている町づくりの為に、町民がこの事を実感できる予算の編成に努めるべき。

町長 町民により身近な予算編成をという質問であった。衆議院の選挙結果に依っては、政治状況も変化することが予想され不透明であるが、防災対策の強化、産業の育成等、自主財源や補助事業等を有効に活用し、積極的に対策を講じる。

歳入は、固定資産税は引き続き減収の見込み。地方交付税、地方特例交付金等国からの収入も大幅な増収は見込めない。

歳出は、児童・高齢者・障害者等への扶助費の増大。広域連合の消防本部庁舎建設事業関連の負担金の増加等、固定経費に掛る財政需要が更に見込まれ、固定経費、事務事業も徹底した見直しにより経費の抑制に努める必要がある。

次の施策を重要施策として取り組む。災害対策等の危機管理の強化。経済対策、雇用創出対策。人材を育てる教育力の向上。産業の育成・支援。健康づくり。交流人口の拡大。地球温暖化対策。重要施策に優先的に配分する考え。浜口議員指摘の、町民の身近な生活面の、道路の補修、改修等については、極力念頭に置きながら予算編成をしたい。

問 経済振興、交流人口の増、企業産業の振興、等が大きな柱になっているが、具体化する為には、茶北町だけの努力では厳しい。例えば、熊本天草の高規格道路が一番大きな要因になる。これまで一般質問で質した

が、早期完成、早期実現の為に我々町民が、天草下島の住民も含めて、地域の我々は何も行動を起こさなくてもいいのか、町長の考えを尋ねる。

町長 これは一番大きな柱である。例年、県に対し高規格道路の早期完成を要望している。当然、今後この事を第一面に出して要望していきたいかなければならない。そういった意味で、バックアップは大きな力になってくる。浜口議員から提案あったように、天草島民の道路に対する熱望も県政を動かす大きな要因と思っている。色々知恵を使い町民の皆様方のお知恵も頂きながら、町民運動や、島民運動として、1日でも早く完成できるように皆様方の力添えも頂き、頑張りたいと考えている。

問 茶北町振興計画が策定されている。この施策を確実に少しでも早く達成するために予算の工夫をすべき。

二 小学校の統廃合
小学校も、統廃合すべきではないか。

問 中学校の統廃合が進んでいるが、児童数の

一層の減少が見込まれる小学校の統廃合も進めるべき。

町長 中学校の統廃合は答申が出てどう実現をしていくかが今後の課題。小学生は年齢6歳、小さい時は徒歩で通学し、地域の中で教育を受ける事が一番良い事で、今、小学校の統廃合はすべきでない。

問 教育委員会の考えは。

教育長 教育委員会の中で意見はない。教育委員会も統廃合は考えていない。

問 中学校の生徒数は10年間で83%である。小学校は、坂瀬川は51%。志岐が若干の減少。富岡は74%。都呂々が78%。児童数の比較は、中学校の統廃合に関わる生徒数の減に達している。児童の学力向上、教育に関わる経費の削減等幅広く見た場合、教育委員会の議題として取り上げるべき。中学校の統廃合も問題提起後、数年経てや々と答申が出た。小学校の統廃合も、教育委員会の中で問題提起をすべき。

町長 自分が生まれ育った地域に親しみながら学

校に通う。小学生の間は、是非そうしてもらいたい、学力の問題等は、小学生の教育に対し教育委員会が、学力を身につけられる事をやっていく事で、解決出来る。

問 地域に子供たちが溶け込む事も大事だが、24年の坂小の1年生は、男2名、女6名、合計8名。8人で6年間小学校生活を送る。児童数の減少は、統廃合の大きな要因なので、問題提起をした。

町長 統廃合はしない。

問 教育の振興を掌るのが教育委員会だ。教育の振興、学力向上のため町長部局と真剣な議論をすべき。

教育長 子供たちの学力向上の為、学力向上対策委員会をつくり検討している。

町長 執行部と教育委員会が連携を密にししながら、町の考え方も受け入れた教育体制になるよう考えている。
問 町執行部との意見交換では教育委員会の立場で、子供たちの学力向上のための意見の主張をすべき。町づくりは人づくりにある。そういう意味では、教育委員会が占める役割は非常に大きい。



神崎公顕 議員

○復興予算逸脱批判で厳格化 ○避難地設置工事入札後の 変更が多すぎる

問 ①紺屋町区避難地設置工事の内、擁壁工事で足場を新たにみたと931千円増額している。当初からコンクリートでなければなら

ない。詳細に説明を。
町長 (一)紺屋町区避難地の財の尾宅地造成工事と同じ工法で、28,486,500円で落札後、工事変更を何度も行い、6,328千円約22%増額した。建築方法、現場の状況把握の欠如なのか、教訓が全く生かされていない。詳細に説明を。

町長 町が行っているものは、緊急防災・減災事業で消防庁の承認を得て実施している。

問 復興予算の行方は被災地が対象の事業に特化するようだ。町長は町民総合センター一帯を防災拠点として整備を図っていく計画だが新年度予算編成に影響はないか。

問 ④側溝の排水先を隣接の樋門まで延長したかと289千円増額してい

ない。説明を求める。

町長 土で計画していたのを耐震度の高いACⅡへ変更しました。

町長 ③避難地と接続する付帯路工事に234千円増額している。現場は水はけも悪く軟弱路盤と当初から一般常識で分かっていたはずだ。説明を求める。

町長 ②強度を得るため変更した。強度を得るため変更した。強度を得るため変更した。

町長 ⑤材料搬入がスムーズに行われるよう購入土を追加し、3,361千円増額した。クレーンを用いれば何にもいらない。

問 明神山地区避難地設置工事についてお尋ねします。本工事

が必要となり増額した。

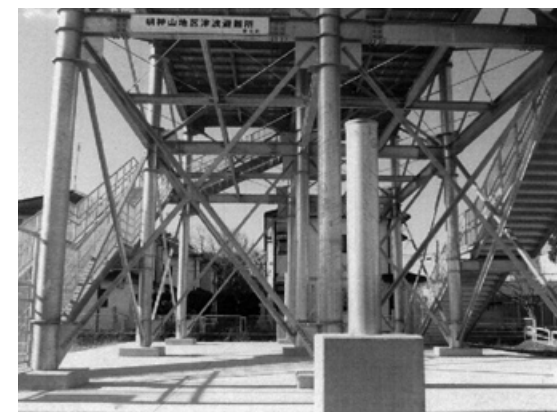
町長 相談した土地が畑地のため整地が必要となり増額した。

町長 ⑥設計になかった購入土を今度廃土するため245千円増額した。説明を求める。

町長 ⑤材料搬入がスムーズに行われるよう購入土を追加し、3,361千円増額した。クレーンを用いれば何にもいらない。

町長 排水関係も梅雨時の状況や潮の干満の影響等を見てから対処することにした。

町長 排水が悪いのは誰もが知っていた。何故当初から設計に入らなかったのか。



明神山避難地の緩衝杭

町長 契約後、資材納入業者よりアドバイスを受け、津波からタワー本体を守るため採用しました。特許料については後で判明しました。

契約後の大型漂流物が直接衝突する恐れがあるからとタワー前後に各1本ずつ2本緩衝杭を設置したためと、特許料併せて3,151,719円増額した。津波避難タワー等に研究開発した特殊製品を採用指定しながら何故当初設計に計上しなかったのか。



野田謙二 議員

町民の所得増加を目的とした、 交流人口による町内消費 マーケットのマネージメントを

町長 町内の消費拡大で町民の所得増加を目指すとの提言だが、私もちと大きな意味でマネージメントを行わなければならないと考える。町内の各種催しやスポーツ

大会を通して交流人口の拡大を図り、地域活性化を進めていくことは町の大きな課題である。陶芸祭り、吟詠大会、坂瀬川グラウンド芝生化等交流人口の拡大につながるよう取り組み、各種イベントの開催に当たっては広告・宣伝する

とともに関係各所と連携をとりたい。指摘のような末端までの意思統一、最終的な町内消費に繋がっているかは判断しかねるところだ。

町長 実際には、本格的なマーケットのマネージメントにはそれなりの経費が掛かる。その経費に見合うイベント・各種事業であるかを仕分けして、予算規模に合わせて、プロにお願いすべき本格的規模のイベントならマネージメントも必要だ。だが、規模の小さな町で出来ることは町で取り組み、指摘されたように効率よく町民に還元できるように関係団体とも連携を執っていく。いづれにしろ、交流人口の増加と経済効果との向上に向けた取り組みについては、今後とも各種団体・関係機関との連携を執りながら推進を図

り、その上で必要な事業にはプロの御指南も仰ぐべきかと考えている。

町長 マーケットとマネージメントと言えは、ふるさと意図はなかったが、ふるさと会、志岐氏サミット等は将来的に帰省定住がしやすくなればとのコンセプトはあった。基礎的な考えは目的に向いているのだが、具体的な行動には繋がっていない。その点は反省しながら、現実化・効果効率化のためには質問にあったようなことも検討課題にする。

町長 行政行為は様々な活動が複合的に関連して結果が出るのだが、町長の意

図が末端の職員まで意思統一出来ていないと思えないところも見受けられる。特に経済に関しては情報収集で概算値が出る。担当課長にはもっと明快な目的意識を持つてもらいたい。

町長 私を含めて職員全員が行政執行目的の明確化は当然のこと。これを徹底することが町の活性化に繋がると思う。目的の明確化を職員全員だけでなく関連する町民にも行き渡るように努力する。

問 が、国家公務員であろうが、地方公務員であろうが、公務員は業務の目的を、予算の執行を滞りなく行うことにすり替えがちになる傾向がある。

町長 本来の公務員の業務目的は住民に対する業務執行効果の追求でなければならない。梶北町役場職員には、今一度結果に対する緊張感や、効果に対する責任感を呼び起こしていただきたい。

町長 国家公務員であろうが、地方公務員であろうが、公務員は業務の目的を、予算の執行を滞りなく行うことにすり替えがちになる傾向がある。

町長 本来の公務員の業務目的は住民に対する業務執行効果の追求でなければならない。梶北町役場職員には、今一度結果に対する緊張感や、効果に対する責任感を呼び起こしていただきたい。

町長 本来の公務員の業務目的は住民に対する業務執行効果の追求でなければならない。梶北町役場職員には、今一度結果に対する緊張感や、効果に対する責任感を呼び起こしていただきたい。

町長 本来の公務員の業務目的は住民に対する業務執行効果の追求でなければならない。梶北町役場職員には、今一度結果に対する緊張感や、効果に対する責任感を呼び起こしていただきたい。

傍聴記



塚田 達 さん
(都呂々)

新年の門出と、きずなの発行を、お祝い申し上げます。

傍聴記寄稿の依頼を受けましたので、一町民の立場で提出させていただきます。

ります。一般質問は、その時々々の社会の動き、町の重要議題が効率よく集約されているし、公開された議論がされるからです。今期は、議員の定数も二名減少していることで議員に重責が増す一方、町民からの期待もさらに強いものがあります。十二月議会の一般質問を取り上げますと、五名の質問でした。町民の関心事を広く取り上げてあります。傍聴者も刺激を受け考え方を新たにするものです。

ACⅡ土羽ブロック維持補修についての質問中、今期の補修箇所が四十九箇所、土地造成工事責任者契約期間が五年であるから、そのあとは町が補修にあたるとの答弁でした。ACⅡを使用した、財ノ尾宅地造成地は、良質を保証された材質のものだと造成当時は宣伝され、町が購入した宅地です。その造成地は、今期以前にも度々補修がされており、将来にわたって補修しなければならない、負の遺産となったことが質問で実証されました。

今、町にとつての将来像がどうなるか、展望が求められています。人口減少と少子化は、小中学校の統合問題を提起しなければなりません。公共施設の維持管理にも支障が出ることでしょう。特に海洋資源の衰退は、町民の生活を圧迫しております。

議会に取り上げて、議論の場を創ることが議会を活性化させ、町民の知恵袋も拡がるでしょう。避難地等、工事関係の質問も何回も取り上げられております。行政の明瞭性が求められ、傍聴者も関心を持っています。

さらにもお願いすることは、五名だけでなく、全議員が一般質問に登壇して、議会が賑わうよう頑張っていたきたいと、願っております。

提出先：熊本県、県議会

交通基盤の早期整備について要望

県町村議会議長会

天草郡提出(苓北町議会)

天草地域は2市1町で、約128,000人の人々が生活しています。

熊本市中心部から天草市中心部まで、海岸線に沿った曲がりくねった道路で、距離にして約90km、空いている時でさえ車で約2時間もかかる辺地に位置し、観光シーズンの交通渋滞に加えて、上島下島を結ぶ瀬戸大橋周辺においては、朝夕の慢性的な交通渋滞の問題を抱えています。

平成19年9月には、「熊本天草幹線道路」の一部(松島-有明間の13.3km)が開通し、10分を超える時間短縮が図られました。このことで、少なからず交通の利便性が向上し、地域間の交流促進や島民生活の向上、産業の振興等々に貢献しているものと思われませんが、整備済の区間は全体計画の20%にも満たず、天草は「90分構想」が達成されていない唯一の地域となっています。

さらに、平成23年3月の九州新幹線全線開通を機に、天草地域におきましても観光客の増加等、その波及効果が大きいと期待されていましたが、移動に必要な所要時間等の問題から、交流人口は思うように増えず、観光産業を始めとする天草地域の活性化には結びついていないのが現状です。

このような状況から、天草地域における交通基盤は、まさに天草の生命線と呼べるもので、その波及効果が特段に大きいと期待されている「熊本天草幹線道路」の早期完成は急務な課題となっています。当該事業への重点的な予算配分をお願いするとともに、熊本天草幹線道路の整備が完了するまでの暫定的な支援策として、交流人口を増やす目的で「松島有料道路」の通行料金無料化についても是非検討をお願いします。(抜粋)

記

○交通基盤の早期整備について

- 地域高規格道路「熊本天草幹線道路」、及び接続する国県道等の整備促進
- 第二瀬戸大橋の早期建設
- 高規格道路整備完了までの暫定的な支援策として、有料道路通行料金の無料化の検討



野崎 幸洋 議員

1、富岡地区避難地と 坂瀬川グラウンドにおいて 工事変更された経緯と追加予算は？

2、富岡轟地区池沼の土地取得については、 町民に対し十分な説明をすべきでは？

①富岡地区避難地について

問 町は、これまで、総合的判断から、海拔12mの高さの避難地であれば安全が保たれるとして、紺屋町・明神山地区の避難所建設を行ってきた。しかし、今回の富岡地区においては当初の計画から、何の説明もないまま、

海拔12mより更に高さ1.6m、面積62㎡嵩上げされている。これに至った経緯と、工事によって発生した追加予算はいくらか？

町長 東海岸・西海岸共に松林が成長したせいでは、一次避難地としての標高は十分でも津波等の状況把握ができない。

また、地元の要望があったため施工業者とも相談し、予算約188万9千円を投入し嵩上げを行なった。

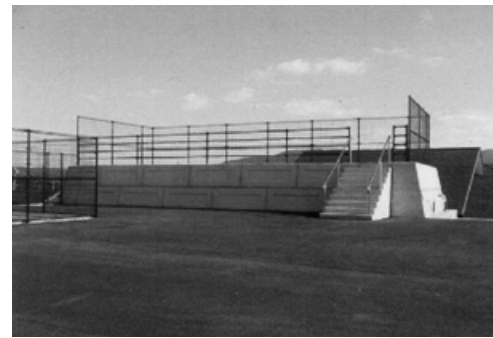
再質問 明神山地区の避難所からは海は見えないと思うが、これまで町が海拔12mであれば安全として、避難地を造ってきたことに対する整合性は？

町長 地域の住民から、より良い提案があった場合は、予算が取れる範囲内で、希望に沿ったものでやって行こうと考えている。

再質問 今回わざわざ188万9千円もかけて高さ1.6m、面積62㎡も嵩上げたのに、なぜ、非常用物資を入れる格納庫を設置しなかったのか？

総務課長 今回の嵩上げの時点では考えが及ばなかった。中に入れる物資については、順次整備をして行きたい。

再質問 今後このような事業に取り組む際は、十分な計画と話し合いを持って行うべきでは？



完成した富岡避難地

総務課長 地元の要望等を聞きながら行っていきたいと思う。

②坂瀬川グラウンド 嵩上げ部分について

問 坂瀬川グラウンドの観客席とグラウンドの間にL型擁壁を使用して、高さ約60cm、面積が約400㎡嵩上げしてあるが、当初の説明になく変更された経緯と使用目的、また、その予算は？

町長 高校生や社会人を含めたサッカー大会等を企画、開催するにあたって、事故防止等の安全対策の面から、競技場と観客席を嵩上げによって区分けを行い、併せて、階段式の観客席とは別に、平らな面の観客スペースを設けることによって、特に幼児や小学生、高齢者などが安心して観覧ができ、観客と競技者との接触事故も防げ、また、観覧用のテント設営や普段のゴールポスト収納等にも活用できるため、工事費166万4千円をかけ施工した。

再質問 東側の民有地453平米を購入し、総額・

約3,572万円かけ拡張したグラウンドなのになぜ、わざわざ使用面積が狭くなるような方法をとったのか？
危険防止対策のためであれば、防護ネット等の方が良いのではないかとと思うが今後、設置予定は？
警務課長 施設全体の安全を考えた設置したものであるため現在の状態で使用している。

二、富岡轟地区池沼の 土地取得について

問 今定例会に、16、869㎡を1億3千500万円で購入する予算が提案されている。今回の購入価格は通常の相場からすると破格の値段のため、町民に対して十分な説明をするべきだと思うが、今後の取り組みは？

町長 町民の皆様へは広報誌等で報告してご理解を得るよう努力したい。